健康保険 被扶養者（異動）届

常務理事	事務長	係長	担当者

受付印

令和 6 年 12 月 2 日 提出

事業主記入欄

事業所名称	○○○○ 信用金庫
事業主氏名	理事長 ○○ ○○○
事業所所在地	〒 111 - 1111 埼玉県○○市○○○ 1－23－45
電話番号	01 （1234） 5678

☑ この届出については、①又は②の要件を満たしたものである。
①申請者本人（被保険者）が作成したものである。
②記載内容については誤りがないか申請者本人が確認している。

事業主が確認した場合に○で囲んでください。

確認 収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。

確認 被保険者との続柄に関する証明書類が省略されている者については、続柄を確認しています。

社会保険労務士記入欄

被保険者欄

被保険者等記号・番号	1251 ・ 9999			生年月日	(昭)・平・令	6	0	0	8	0	2	性別	男 ・ 女	標準報酬月額	300 千円	年収	5，000，000 円		
氏名	(フリガナ) ケンポ		(フリガナ) タロウ		取得年月日	(昭)・平・令	0	6 年	1	2 月	0	2 日	住所	〒 350 - 0001 埼玉県川越市○○○ 1－1－1					
	(氏) 健保		(名) 太郎																

被扶養者になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、氏名や住所などの変更の場合は「変更」を○で囲んでください。

被扶養者欄1

氏名	(フリガナ) ケンポ		(フリガナ) ハナコ		個人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2		
	(氏) 健保		(名) 花子		生年月日	(昭)・平・令	3	3 年	0	5 月	1	0 日	性別	男 ・ 女	続柄	実母			
住民票住所	〒 ー				1.同居 2.別居	海外居住者又は海外から国内に転入した場合は右欄を記入してください。		海外特例要件		海外特例要件該当		理由	1.留学 3.特定活動 5.その他（ ） 2.同行家族 4.海外婚姻等						
居所	〒 ー									海外特例要件非該当		理由	1.国内転入（令和 年 月 日） 2.その他（ ）						
該当	被扶養者になった日	令和 年 月 日		職業	1.無職 4.小・中学生以下 2.パート 5.高・大学生（ 年生） 3.年金受給者 6.その他（ ）			年収	780，000 円		理由	1.出生 4.同居 2.離職 5.その他（ ） 3.収入減						
非該当 変更	被扶養者でなくなった日			1.死亡 2.就職 3.収入増加	4.後期高齢者 5.その他（ ）			備考	※続柄確認済み ☐		資格確認書発行要否	☐ 発行が必要 理由：マイナンバーカード未所持のため						

日付が明らかでない場合、記入しないでください。

事業主が✓を付してください。

○被保険者欄

- ・被保険者等記号・番号 ：資格取得時に払い出しされた被保険者等記号・番号をご記入ください。被保険者資格取得届と同時に提出する場合は記入不要です。
- ・氏名 ：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・生年月日 ：年号は該当するものを○で囲んでください。
- ・性別 ：該当するものを○で囲んでください。
- ・標準報酬月額 ：被保険者の申請時の標準報酬月額をご記入ください。
- ・年収 ：被保険者の今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。
- ・住所 ：住民票の住所をご記入ください。

○被扶養者欄

- ・氏名 ：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・続柄 ：被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」等と記入してください。
- ・個人番号 ：本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。
- ・住所 ：被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所を、「備考欄」に居所をご記入ください。住民票住所と居所が同じ場合は居所の記入は不要です。なお、海外居住者については、国内における協力者住所（親族、被保険者の勤務先住所等）を方書きも含めてご記入の上、「備考」欄に海外居住先の住所及び国内協力者が親族の場合は氏名及び続柄をご記入ください。
- ・被扶養者になった日 ：被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日をご記入ください。
- ・年収 ：今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含みます。非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「備考」欄に具体的な内容をご記入ください。
- ・理由 ：被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、『被保険者資格取得届』と同時に提出する場合は記入不要です。
- ・被扶養者でなくなった日 ：死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。
- ・海外特例要件 ：海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。
- ・備考 ：被扶養者情報に変更がある場合は、変更の内容とその理由をご記入ください。
  事業主が戸籍謄本等で被保険者と扶養認定を受ける方の続柄を確認した場合は、「※続柄確認済み」の□に✓を付してください。
- ・配偶者の年収見込額 ：配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。
  これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。
- ・資格確認書の発行要否 ：資格確認書の発行が必要な場合（※）は、「発行が必要」の□に✓を付してください。
  ※以下に該当する場合に限ります。
  - ・マイナンバーカードを取得していない者、マイナンバーカードの返納者
  - ・マイナンバーカードを保有しているが健康保険証利用登録を行っていない者、利用登録解除を申請した者、利用登録解除者
  - ・マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者

※ 添付書類が「労働条件通知書」等の労働契約の内容が分かる書類のみの場合：「今後の収入は給与収入のみである」の□に✓を付してください。

被扶養者申請理由書　兼　遅延理由書

被保険者
氏名（自署）　健保　太郎

1. 届出する方（被扶養者）は、出生、婚姻、退職、雇用保険の失業手当終了等によってその日付が明らかな方ですか。

はい → 日付が記載されている書類を添付してください。

いいえ → 下記にその理由を記載してください。

2. 上記の有無に関わらず認定日、または削除日から申請が一月以上遅れた方、表面に理由が記載しきれなかった方は下記に理由を記載してください。

令和 3年 2月 1日より母と同居を始め、生活費を負担しているので、被扶養者の申請を致します。

なお、父とは死別しております。

また、上記日付より一月以上申請が遅れたのは、被扶養者の制度を知らなかったためです。

よろしく、お取り計らいください。